

スイス7月22日



ツェルマットのアンバサダーホテル前でこれからマッターホルンの朝焼け見学です 空を見上げると何もみえません。この霧があと20-30分で晴れ上がるとも思えませんが、金沢さんに連れられてビューポイントまで行く。昨晚の打ち合わせで雷でもない限り、今日はウォーキングしようということになっていましたので、天候は気になります。予報は聞くだけやぼ



ツェルマットの中心街をウィンドーショッピングしながら歩きます 心中だれも期待はしていません 前日もそうでした

本場洋風のお墓がありました



ビューポイントにはすでに日本人の観光客の人ばかり この方向にマッターホルンが見えるとのこと そろそろ日の出時間です

朝焼けはみられませんでしたが、朝の散歩は気持はいいものです。肌寒い気候ですが日本は暑いのかな？ 日本の様子まるで不明、ここではNHKの海外放送もインターネットもなし



ホテルの玄関先にエーデルワイスが

ホテルの前で記念撮影



さて朝食も終わりスネガー展望台へのツアーに出発です 地下ケーブル駅前



地下ケーブルカーです



地下ケーブルで、一気にスネガー展望台（2288m）まで上がります。ここで2時間すごし、午後は自由行動の予定ですが、リーダが交渉しそれを繰り上げてもらいすぐに我々だけウォーキングすることになりました。



スネガー展望台にて

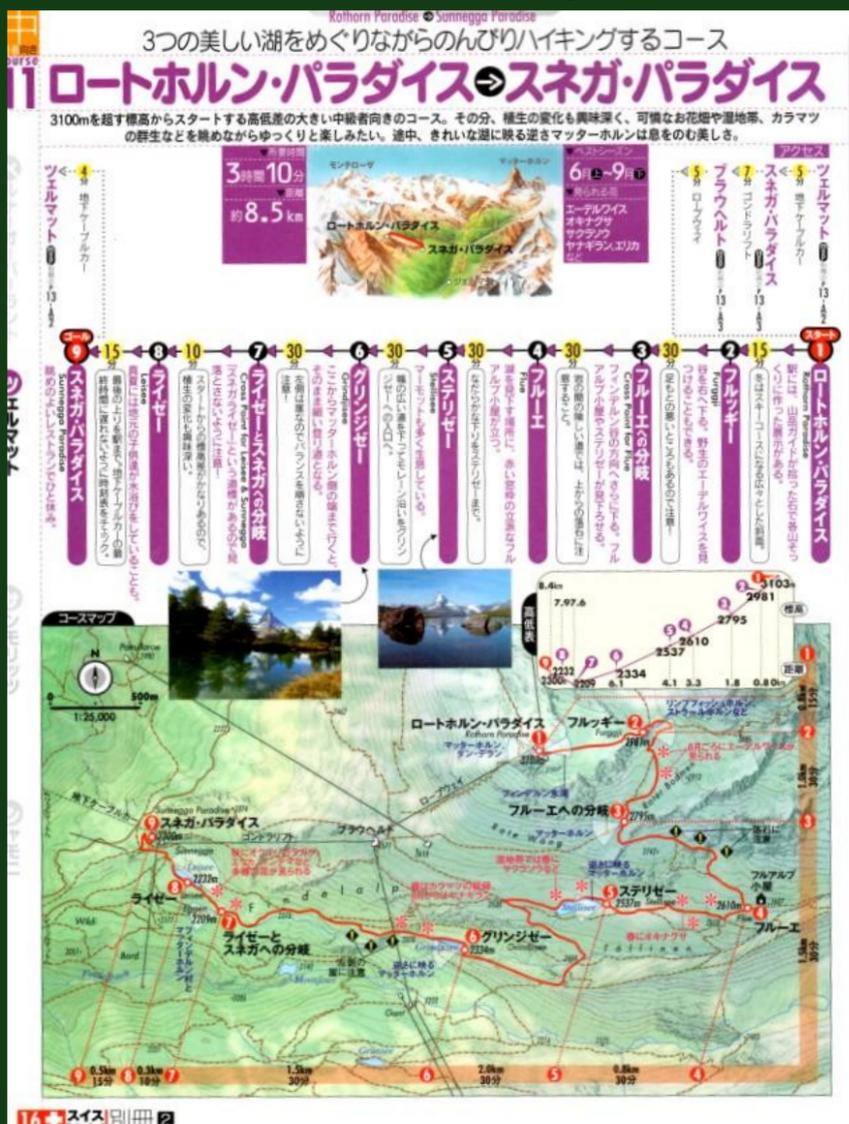


空は青空ですが、肝心のマッターホルンなかなか全景を見せません。風がないせいか雲も殆ど動きません



この展望台で一通り見るとさてウォーキングですが、リーダと仲さんがコースを検討していましたが、さらに上のロートホルンパラダイス（パラダイスとは日本語で展望台と訳されています）からこのスネガー展望台まで歩くコースにするとのこと

コース全容





ここからロープウェーに乗ってロートホルンパラダイスに向かいました。



ロートホルン展望台（3089m）は風もなく 日差しで暖かく、360度の展望 今日ダウンを着て来たのにその必要はないようです。



どうしても背景にはマッターホルンの雄姿を入れたいくなりますね



ゴンドラ 100人以上も乗れます



ロートホルン展望台にて



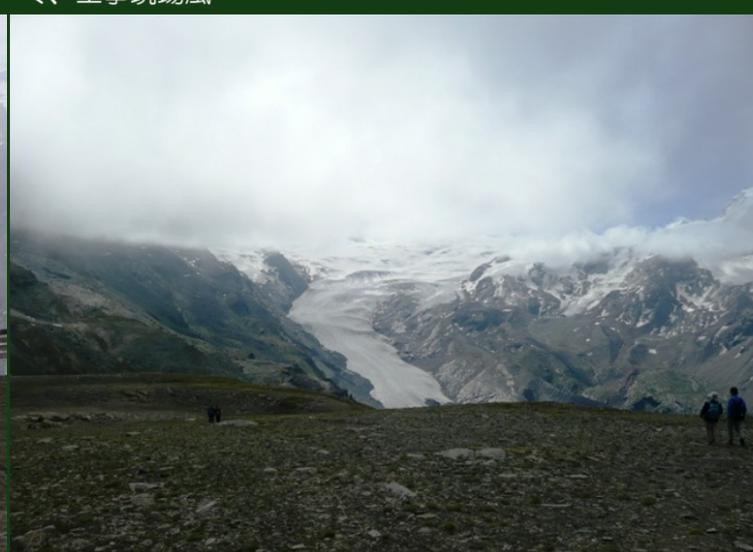
登ってきたロープウェーのケーブル これを目印にすればスネガー展望台まで降りられるという安心感があります



山頂はなだらか 石ころだらけの道 山奥という感じはなく、工事現場風



ゴルナー氷河が間近に見えます





リーダについて、しばらくぶりの歩き、一步一步感触を確かめながら歩きます



さあーどっちに行こうかな？



石ばかりと思っていた足元でしたが、言われて足元をみると色々の小さい花がありました



モンテローザの方向ですがどれがモンテローザか良くわかりません



氷河でできた谷ということが良く分かります





ちいさいちいさい花ですが



歩きやすい道でした



ロートホルンの峰を回ると 待望のマッターホルンが見え出しました。 絶景でした



目に焼き付けたつもりでもすぐに忘れるので、マッターホルンを撮り続けます



マッターホルンに向かってのんびり歩く一行



マッターホルンに向かって 最高のウォーキングです ハイカーは少なく 我々だけの世界でした



多少の登りもありました





いかにもスイス風の風景 どちらにカメラを向けても絵になります



独立峰マッターホルンは槍ヶ岳の穂先に似ています



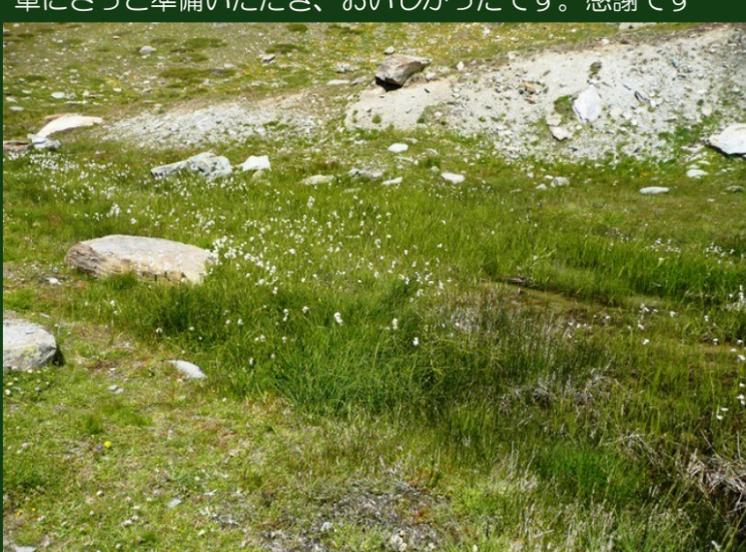
山と湖と高山植物とハイカー



湖にはさざ波があり、逆さまッターホルンは見えませんでした



ここで昼食 日本から持参のものと現地調達のもの、女性軍にさっと準備いただき、おいしかったです。感謝です



マーモットか？



はるかかなたに続く気持ちよい道



全然疲れません





この辺はスネガー展望台に近く ハイカーに合うようになりました



この最後の雲がとれない とうとう全景をみせなかったマ
ーターホルン さすがアルプスの女王と言われるだけある
な 女性ですものね



スネガー展望台がみえてきました。



歩き足りなそうです





スネガー展望台に着くとクールダウンそっちのけ、すぐにビールで乾杯でした。



歩数計では本日26000歩も歩いたという結構歩いたことになりました。



ディナーはスイスワイン飲み放題 赤、白、赤、白覚えていません

